

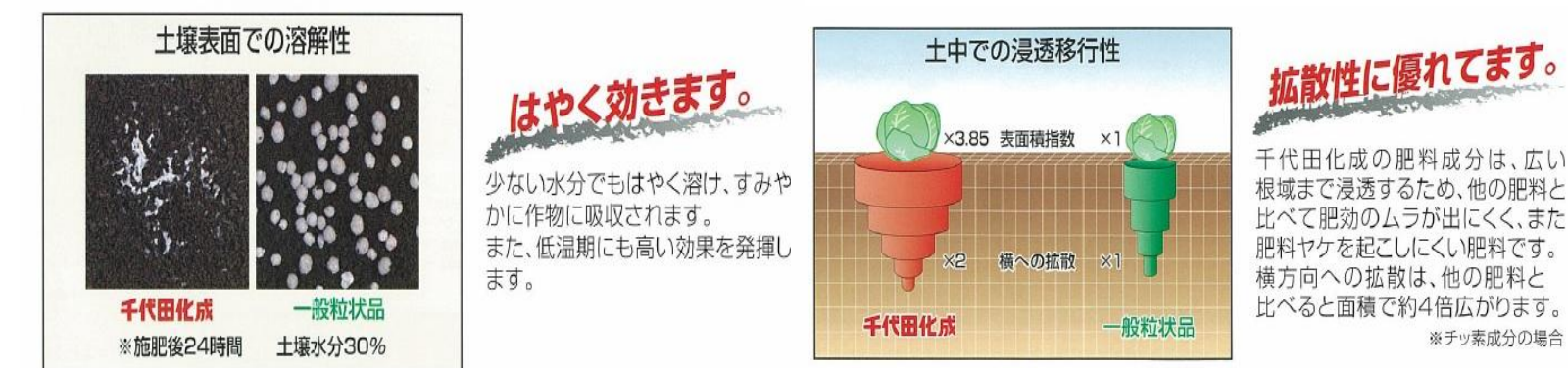
皆様、新年あけましておめでとうございます。
千代田ニュースvol.65は九州営業所からお届け致します。
去年は、コメ不足による、コメ価格高騰が社会的問題となり、大きく国民の関心が
高まりました。尚、新年を迎えた現在もコメ価格は高止まりしたままです。
今年は、安定した生産、供給はもちろんですが、
何より生産農家皆様の利益に繋がる事を願わずにはられません。
私共、サンアグロ(株)には生産者の皆様に寄与できる自信を持ってお勧め出来る
商材がございます。改めてご紹介させていただきます。

① 千代田化成 この冬、低温期でも肥効を発揮します。

粒肥でも液肥でも使える速効性肥料。

特長

- ・速効性肥料、効かせたい時に直ぐに効果を実感。
- ・拡散性に優れています。土壌中横方向への拡散は他の肥料に比べ約4倍広がります。
- ・中性肥料の為、土壌を荒らしません。



②硫黄被覆肥料(SCU/SC化成)

2030年のマイクロプラスチック問題に対応できる唯一の被覆肥料！

殻が圃場に残らない環境保全型肥料。

特長

- ・尿素、水溶性の肥料を硫黄、微生物分解性ワックスの2重コーティング。
- ・微生物分解により、ゆっくり溶出します。
- ・被膜は全て微生物分解性の為、長期使用でも土壌中に蓄積されません。環境保全型。

マイクロプラスチック海洋流失問題に完全対応できる硫黄被覆肥料に
フォロの風が吹いています。この拡販のチャンスを掴み、
プラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業を推進しましょう。

ナスの追肥にもやっぱり 千代田化成

熊本県では施設園芸が盛んで、様々な作物が栽培されています。今回はナス栽培の追肥管理についてご紹介致します。

こちらのナス栽培は8月中旬定植、10～6月までの長期間収穫をしています。通例だと10、11月の秋の収穫後の寒冷期に入ってくると樹勢が落ち初め、1回目のなり疲れ対策が必須となってくる。今回の農家さんは、11月～適宜追肥を千代田化成で実施しており、樹勢も旺盛のまま収穫量の落ち込みも防げています。

追肥のタイミングは、施肥量少なくして2日ないし3日おきに液肥として灌水処理。
※追肥量、施肥間隔は下記表参照。

使用農家さん曰く、千代田は溶けやすく反応が早い為、追肥管理がし易い！と嬉しい声をいただけています。



・収穫量に応じた追肥量目安表

1日収穫量 (kg/10a)		1回当り施肥量(kg/10a)		施肥間隔 (日)
		千代田550	スーパーカリ	
50	施設	10	3	7~8
100	施設	20	6	7~8
	露地	30	10	7~8
200	施設	30	8	5~6
	露地	50	15	5~6
300	施設	30	8	3~4
	露地	50	15	3~4

※施肥量を半分にして、施肥間隔を短縮しても結構です。

※混用する場合は、予めそれぞれの肥料を薄めた上で混用してください。

ぜひお試しあれ♪



サンアグロ
SUN AGRO CO., LTD

編集：九州営業部 中村、松岡